

# 監査報告書

2022年5月11日

一般社団法人ジャパンケネルクラブ  
理事長 別所 訓 殿

一般社団法人ジャパンケネルクラブ

監事 菊池 嘉光



監事 相澤 知敬



私たち監事は、2021年4月1日から2022年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会等に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。

## 2. 監査結果

- (1)事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2)理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3)計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書は法人の財産及び損益の状況を適正に示しているものと認めます。
- (4)公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

## 【別紙2:公益目的支出計画実施報告書】

### 2. 公益目的支出計画実施報告書

【 令和 3 年度( 令和3年4月1日 から 令和4年3月31日 まで)の概要】

1. 公益目的財産額	1,287,027,659 円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額(①+②-③)	955,354,996 円
①前事業年度末日の公益目的収支差額	864,573,578 円
②当該事業年度の公益目的支出の額	175,005,936 円
③当該事業年度の実施事業収入の額	84,224,518 円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	331,672,663 円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 <sup>注</sup>	
<p>当該年度末の公益目的収支差額が計画見込みを下回るようになったのは、計画策定時点に比べ、主に継2(動物愛護・普及啓発事業)における実施事業収入の額が見込みを上回ったことによる。なお、当該公益目的収支差額は、公益目的支出計画の実施期間や今後の実施事業の規模に鑑みて、実施期間に関して影響はないと考える。</p>	

注:詳細は、別紙様式に個別の実施事業等ごとに記載してください。

### 【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の完了予定事業年度の末日	①. 計画上の完了見込み	令和8年3月31日
	②. ①より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	1,287,027,659 円	1,287,027,659 円	1,287,027,659 円	1,287,027,659 円	1,287,027,659 円
公益目的収支差額	1,120,270,520 円	864,573,578 円	957,473,578 円	955,354,996 円	1,050,373,578 円
公益目的支出の額	176,168,815 円	168,021,327 円	157,000,000 円	175,005,936 円	157,000,000 円
実施事業収入の額	36,135,000 円	67,854,183 円	64,100,000 円	84,224,518 円	64,100,000 円
公益目的財産残額	166,757,139 円	422,454,081 円	329,554,081 円	331,672,663 円	236,654,081 円

※前事業年度及び当該事業年度の計画及び実績の額、翌事業年度の計画の額を記載してください。